

## 全国発信記事 ▲▽▲▽ 小名浜支部

### ▲▽▲▽「福島県」へ申入れ▲▽▲▽

小名浜支部は4月13日に福島県に船員の住民税減免をはじめとする船員政策について申し入れを行った。申し入れには、鈴木智福島県議会議員にご同行いただいた

申し入れでは、はじめに奈良章小名浜支部長から、申し入れの趣旨を丁寧に説明し、理解を求めるとともに、国際貿易港と漁船漁業基地であり、福島県の海運と水産業の経済拠点として重要な役割を担う小名浜港に、船と船員はこれからも必要不可欠な存在で、将来の福島県の物流や漁業の発展に、船員職業を支援する各地方自治体の協力がますます必要であると、船員政策の早期の実現を要望した。

### 主な申入れ内容

- ①船員における住民税の減免について
- ②海に親しむ活動の推進について
- ③海洋プラスチックごみへの対応について一などを要請した。

### 福島県 <仁井田総務部市町村財政課長がご対応>

申し入れ内容は理解したが、住民税の扱いは各市町村が判断する事となっている。

#### ▽海に親しむ活動について

出前授業などのプログラムがあれば中・小学校へ周知したい一との考え方を示した。

#### ▽海洋プラスチックごみの対応について

プラスチックごみはリサイクルでごみを発生させない取り組みを行っている。

海岸に漂着するごみの清掃回収処理も行っており、昨年10月に福島県岩間町岩間海岸で「ふくしま海ごみ削減プロジェクト」の「スポGOMI甲子園」福島県大会が開催され県内の高校生89人が参加し、約274キロのごみを回収した。

県としても、海事思想の啓蒙活動に協力していきたい 一との考え方を明らかにした。